

ポンカンリキュール「ポンカのんが」について

<ネーミング>

「ポンカのんが」・・・「ポンカ」はポンカン「のんが」とは、「飲みましょう」を意味する南さつまの方言原材料の“ポンカン”に響きを通じ、シンプルでわかりやすいこと。「のんが」が表す「一緒に飲もうよ!」という方言から、産地のイメージが想起されます。

<ポンカンリキュールの配合・開発>

地元の酒造会社「萬世酒造株式会社」と本学農学部共同でレシピを検討していきました。「さわやかさ」「風味」という観点からポンカンを食べた時の印象を表現しながら、久志の「風土」を感じさせてくれるような味に近づけるために、試行錯誤を繰り返しました。

特に「風味」を損なわないために加熱処理をせず、香りの変化を最小限にとどめました。久志の「風土」を感じさせる、久志農場産のポンカン果汁と地元の老舗酒造会社の焼酎を使用。ポンカンの風味と香りを活かせるリキュールに仕上げました。



<パッケージデザインについて>

南さつまキャンパスからのぞむ真っ青な海と、たわわに実ったポンカンをイラストで表現したさわやかなイメージのものができました。

店頭に並ぶことを想定し、目に留まりやすいラベル標記をめざしました。



玉川大学 南さつまキャンパス

宿泊研修施設「久志晴耕塾」と久志農場

○パッケージデザインを担当した古屋里紗さんのコメント

「酒屋さんに行き、リキュールはどのようなデザインをされているのかを調べたり、大学の図書館でデザイン関連の本を借りたりして、発想のヒントにしました。先生から『ユーザーが購入した後のこともイメージしてデザインすることが大事』とアドバイスをいただき、デザインは視覚的なものではあるけれど、そこから一人ひとりの物語を考えていくことが大事なんだと感じました」

以上